

スウェーデンの教会 ①

ストックホルム白樺の教会

聖マルコルーテル教会 MARKSKYRKAN

2013年8月4日（日）訪問

設計：シーグルド・レヴェレンツ Sigurud Leverentz

1960年建設 場所：スウェーデン スtockホルム

ストックホルム中央駅から17番 Skarpnack 行きの電車に乗換え、約15分でビョルクハーゲン Bjorkhagen 駅に到着。駅に続く道のすぐ近く、白樺の木立の向こうに目指す教会が見えました。日曜日の静かな朝、ランニングの人、犬の散歩の人。会堂内からオルガンの音が流れ、あたりは白樺の林に囲まれ、木々を渡るみどりのひんやりした空気が満ちていました。

礼拝は11時からとのこと、始まるまで1時間もあるのでしばらく内外の写真を撮影。

39年ぶりに訪れた教会は、昔のままのレンガ造りの美しい姿がありました。外壁のレンガ、内部の壁のレンガを見て、あらためてレンガは長い年月に耐えうる優れた材であることを教えられました。



聖マルコ教会はシーグルド・レヴェレンツ(スウェーデンを代表する近代の建築家、森の教会の共同設計者でもある)によって設計されました。

レンガの繊細な模様の外観が周囲の白樺林の中に溶け込み、自然と一体となっています。内部も窓は少なく、外からの光が抑えられ、落ち着いた祈りの空間をつくりだしています。やわらかい光に包まれ、座っていると静かな気持ちになります。

ルーテル教会はスウェーデン国教会であり、教会であると同時に、地域の役場としての機能を果たしています。牧師は国家公務員です。この聖マルコ教会も、役所棟と教会棟が中庭を挟んで併設されています。

スウェーデンでも教会員が礼拝に出席することがたいへん少なくなり、この日曜日も20数名と少数で、会衆席もまばら、老人とハンディキャップのある人の姿がありました。女性牧師による説教と聖餐式にあずかり、礼拝後のコーヒータイムにも誘われたので一緒にいただきました。出席者は少ないのですが、ここが彼らの憩いの場、居場所となっているような表情を感じ取りました。

聖マルコ教会 模型



左側 役所棟

右側 教会棟

39年前、北欧建築視察で訪れた時（1977年9月22日）



牧師のサインと私



案内板



駅からすぐのエントランス



教会棟 正面と入口





役所棟を見る



役所棟と教会棟の間の中庭池



礼拝堂 正面



日曜礼拝



聖壇コーナー



女性牧師の説教



聖餐式



コーヒータイム



図書コーナー